

奨励賞

忍城おもてなし甲冑隊【行田市】

戦国時代の忍城にまつわる武将・姫・足軽により平成22年に結成された。豊臣秀吉が唯一落とせなかった城として数々の物語の題材となった忍城並びに行田市の歴史や魅力に親しんでもらうべく、観光案内、写真撮影、演舞披露などのおもてなしを実施。今年で結成6年目に突入した「忍城おもてなし甲冑隊」は現在県内外のイベントへ出演し、行田市はもちろん埼玉の魅力を多く発信し続けている。



① 戦国時代へタイムスリップ！コミカルで迫力のある演舞でおもてなし

総重量10kg～15kgもある鎧甲冑を身に付け、刀や槍をダイナミックに振り回したパフォーマンス！時代背景に沿った演目やPRに特化した演目など多彩なパフォーマンスでおもてなしをしている。

② 「一日大将」お客様参加型演舞

その日その場に居合わせた観光客の方に「忍城おもてなし甲冑隊の総大将」になって頂き、陣羽織に烏帽子を装着し、甲冑隊と共に演舞パフォーマンスを体験してもらう。

③ 外国人観光客へ英語版パンフレット配布

東京オリンピックやラグビーワールドカップに向け、英語のパンフレットを製作し希望者へ配布。TOEICスコア900点以上のスタッフによる英会話指導のもと、写真撮影などの案内を実施。

④ 行田の歴史、忍城の歴史を紙芝居やまち歩きで伝える

戦国時代に起きた出来事をわかりやすくまとめた紙芝居の披露や、古代から現代までの史跡を巡るまち歩きツアー「ブラタナリ」の実施。

甲冑隊に親しんでもらいながら郷土の歴史や忍城への関心を高めてもらうことを目的に市内の幼稚園、保育園への訪問を実施。紙芝居や踊りを通して甲冑隊に親しんだ園児たちを経由し、その家族にも関心の輪を広げることで、地元住民が忍城を訪れ、観光やおもてなしへの意識を持つきっかけとなった。

